



どぼくま新聞

発行 熊本県土木部監理課 ☎096-333-2485

「どぼくま新聞」とは

「どぼくま新聞」は、私たちの身近なところにあるけれど、あまり知られていない建設業の役割やさまざまな情報について、紹介していく新聞です。



拝殿から入ってすぐの拝殿。内部を見学することができます
拝殿内の豪華な彫刻
天井ぎわの壁面に「春夏秋冬」を示す彫刻がされています

国宝 青井阿蘇神社

熊本県で唯一の国宝に指定されているんだね。どうして指定されたのかな？

青井阿蘇神社は、本殿や、楼門(入り口の門)などの建造物5棟と、改築の年代が書かれた「銘札」が国宝に指定されているんだ。中世の人吉・球磨地域の独自性を持ちながら、約400年前の安土桃山期の華やかな建築様式が見られるというのが主な指定の理由だよ。国宝に指定された5棟のうち、幣殿、拝殿、楼門の3棟の建造物はいずれも「かやぶき」の屋根。人吉は雪深い土地ということもあり、瓦屋根に比べて急な角度になっているのが特徴だよ。



6年 田中舞琳ちゃん、伊賀上和也くん、鳥越かれんちゃん

ぼくたちが調べてきたよ!

熊本県の南にあり、山に囲まれた人吉・球磨地域。ここには、青井阿蘇神社などの歴史的建造物のほか、住む人の暮らしやすさを考えた道、トンネルが多く作られています。建物の秘密を、人吉市の小学生が聞いてきました!

探検! 発見!

人吉・球磨の建物

つくる部がゆく

道路や橋に込められた「つくる人」の思い

今回、人吉・球磨地域の建物を探検するのは、人吉市の小学6年生の田中舞琳ちゃん、伊賀上和也くん、鳥越かれんちゃんの3人。県でただ一つ国宝に指定されている青井阿蘇神社や、明治時代に建てられた石造りの機関庫を見学しました。

また、ループ橋や高速道路の話聞き、「当たり前」に使っているけれど、人の苦労や思い、お金がかけられているんだとあらためて感じた様子。これから通る時には、関わった人の思いを考えてみたいと笑顔を見せてくれました。

他にも… たてもの すごい建物がいっぱいだよ!

石造りの機関庫

レール下で整備できるように、穴が掘られているのが面白いね!

1911(明治44)年に、機関車の整備、修理をする場所として建設。今でも、「SL人吉」の水の補給所などとして使われているんだよ。国が指定する「近代化産業遺産」の一つなんだ。

人吉ループ橋

3人に説明する、東球磨地域振興局の倉本純平さん。ループ橋ができる前は、道路の幅も狭く、とっつても急だったんだよ!

どうしてぐるぐる巻きのかたち形をしているんだろう?

人吉と、宮崎県のえびのを結ぶ道は、くねくねと曲がった坂道で、通る人も少なかったんだ。そこで、円を描きながら、ゆるやかな坂道となる「ループ橋」が、1977(昭和52)年に、4年3カ月の歳月、約32億円をかけて完成。人吉—えびの間の移動時間は、約2時間から30分に。通る車も15倍に増えて、2つの都市の交流がさかんになったんだ。

肥後トンネル

人の命を守るために、たくさんの設備があることに驚き!

高速道路で日本一長い区間が、人吉—八代18区間(38.5km)。この区間には23のトンネルがあり、そのうちのひとつ、「肥後トンネル」は、全長が6km以上! 日本で9番目に長い道路トンネルなんだ。事故や災害に備えた避難連絡路や、被害を最小にするための信号が設置されているよ。

「つくる部」部員にインタビュー

嘉島町の個人宅塗り替え工事の現場で働く落合英人さんに聞きました。

「どんなお仕事をしていますか?」
家やマンションの壁、橋などをローラーやスプレーで塗っています。図工で絵の具を塗った後にニス塗るように、何回も重ねてきれいに仕上げます。熊本を流れる白川に架かる大きな橋も、大工も塗り直しましたよ。

「塗装の仕事を選んだ理由は?」
父も私と同じ塗装の仕事をしています。小さいころから父の背中を見ていて、楽しそうだなと思ったので、この仕事を選びました。

「うれしいことは?」
塗装がはがれた部分を直すときは、同じ色で塗りなればいけません。難しいですが、うまく色が作れて、ここを塗り直したか分からないくらい上手に塗れたときはうれいよね。

「これからの目標は?」
家の塗装が終わって、工事がうしろなので、家の塗り替え工事をもっとできるように頑張りたいです。

「壁を何度も塗って、きれいにするよ!」

落合英人さん(37)
熊本商業高校商業科卒業後、(有)落合建設に入社。4人組のAVC資格。一級塗装技能士、二級建築施工管理技士(仕上げ)、二級土木施工管理技士(鋼構造物塗装)

